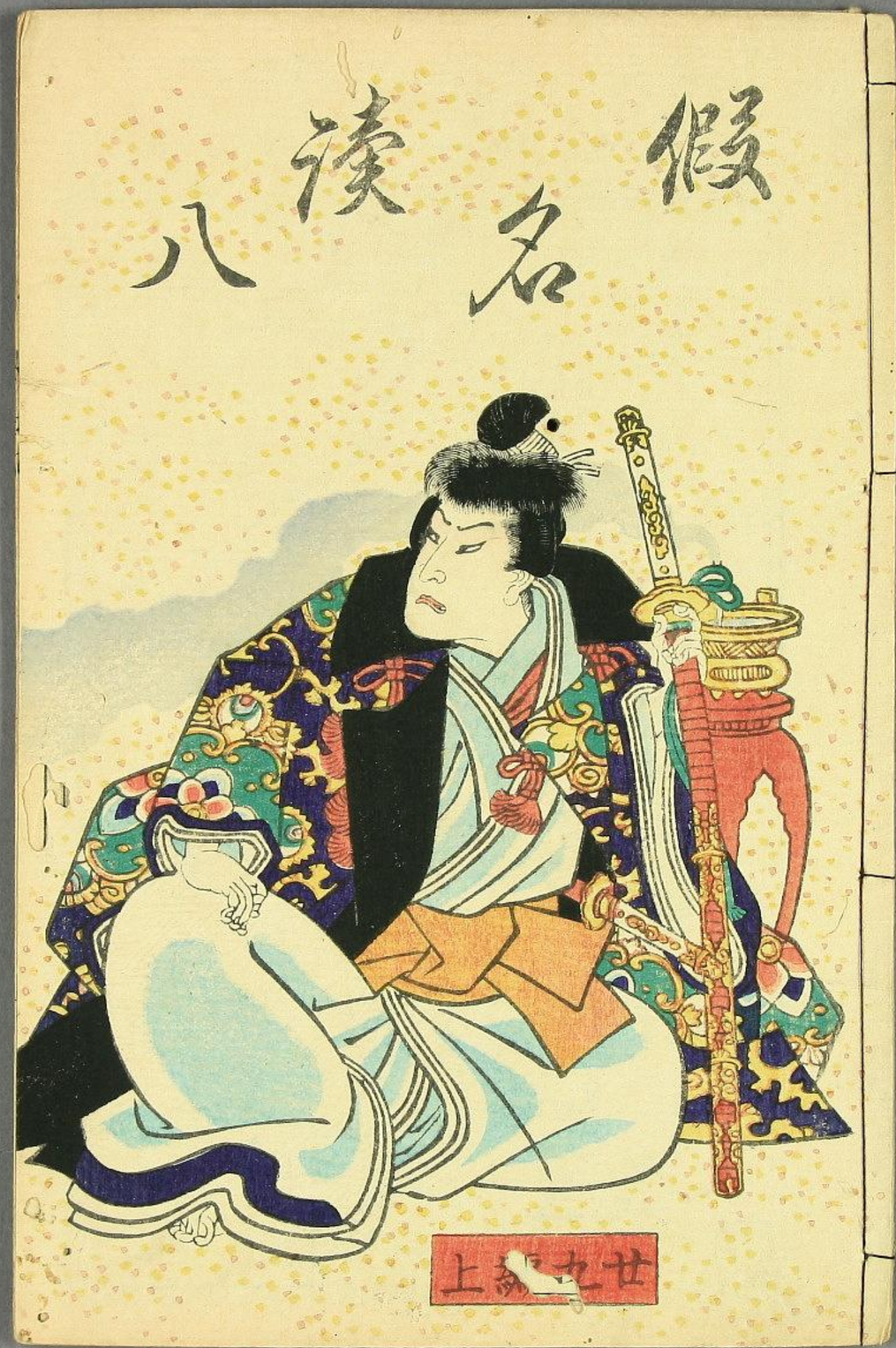
魯文稼
芳幾画
大伴
廿九編下

假名淀八
廿九編上

假名淺八



上廿九

A350
3

魯文録

假名讀八犬傳

廿九編上

芳幾画

菊壽堂

文庫

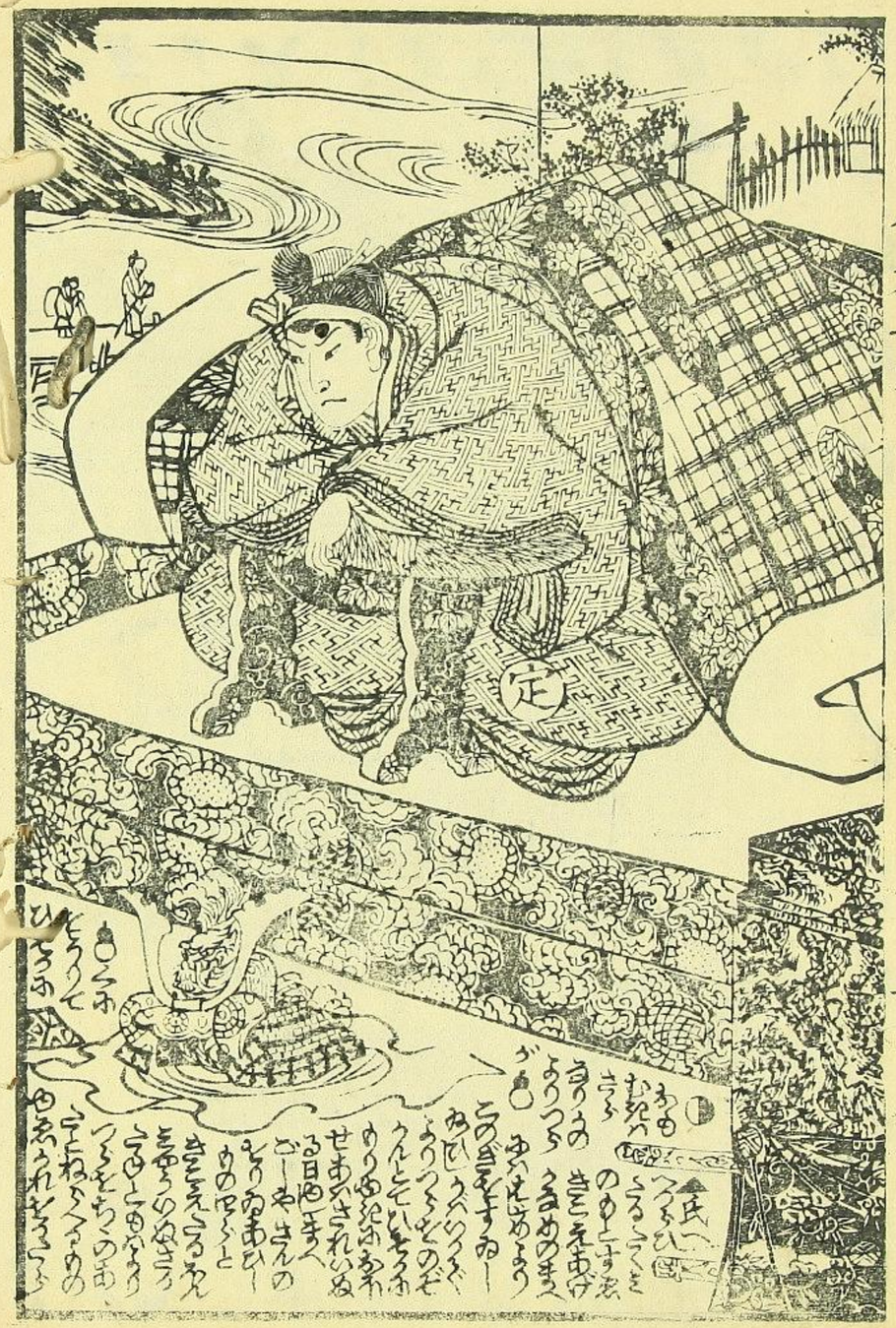
48-7604

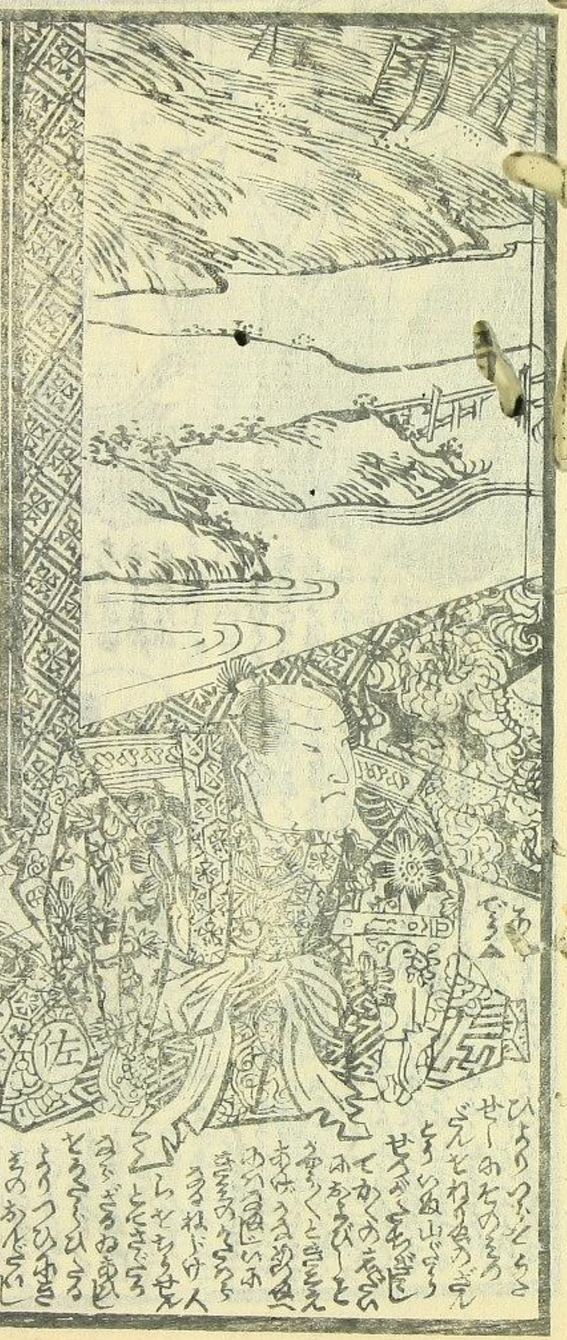
前の録者琴童子ゞ既ふ廿七編の序文ふゝ誌せる如く原本等九十二回より。九十五回ふうち續き軍談で謂修羅場のゝ媚を婦幼ふこゝふまく欲を繪様のゝ紀ふ困果れど元來他作の抄録物自在を得ると難このゝバ攻伐戰鬪を短く端折て其槩略を筆記ふゝ。此次三十編以下ハ未發の犬江ゞ富山の出身素藤退治の間ふハ妙椿比丘尼の艶麗化姿濱路姫の嬋娟ある繪組の工風ゝは幾ゞの毫を揮て御覧ふ入ゝバ暫時辛抱あさせぬ〳〵と序文ゝ老實ふ述るとゝ。

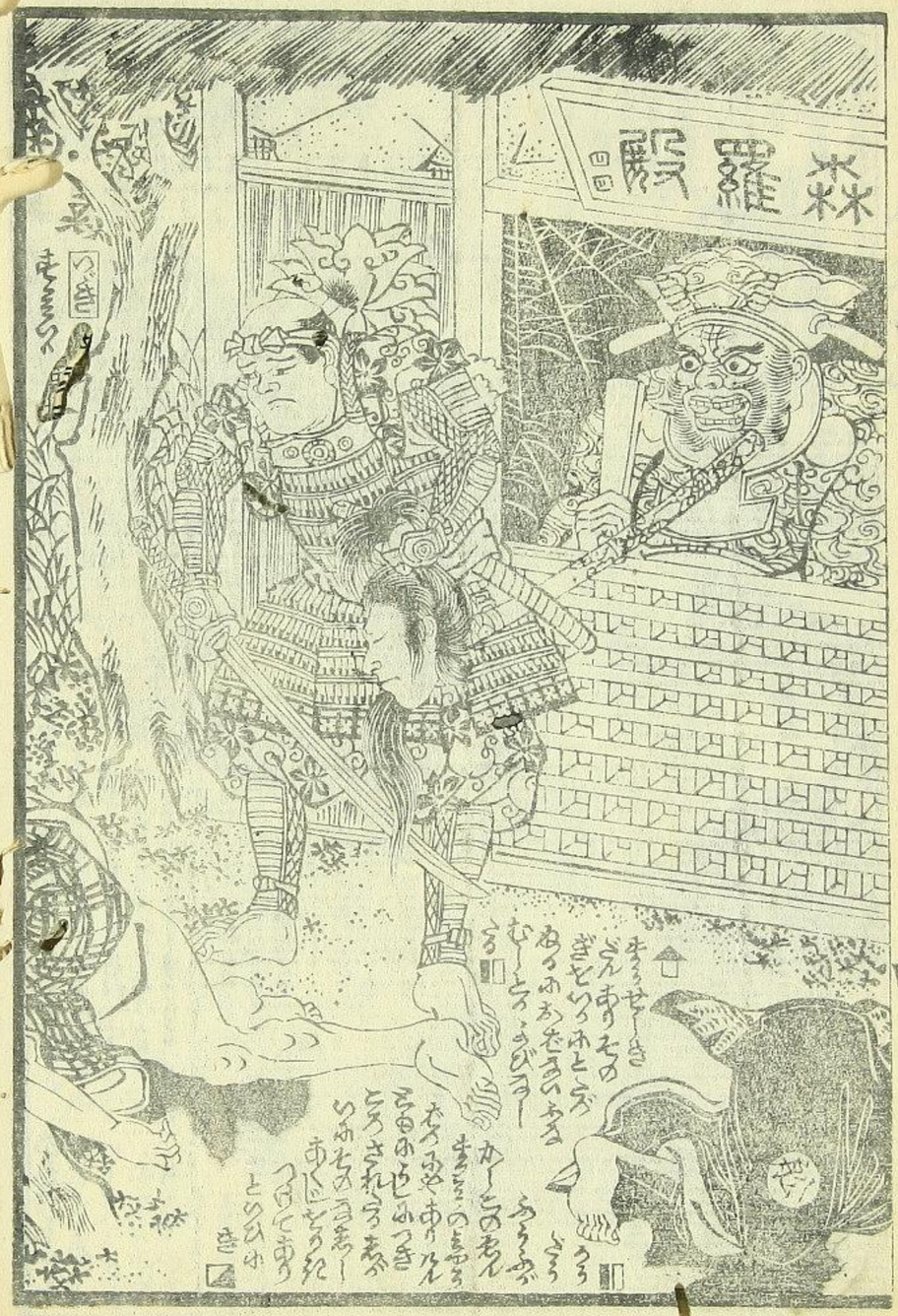
假名垣魯文記

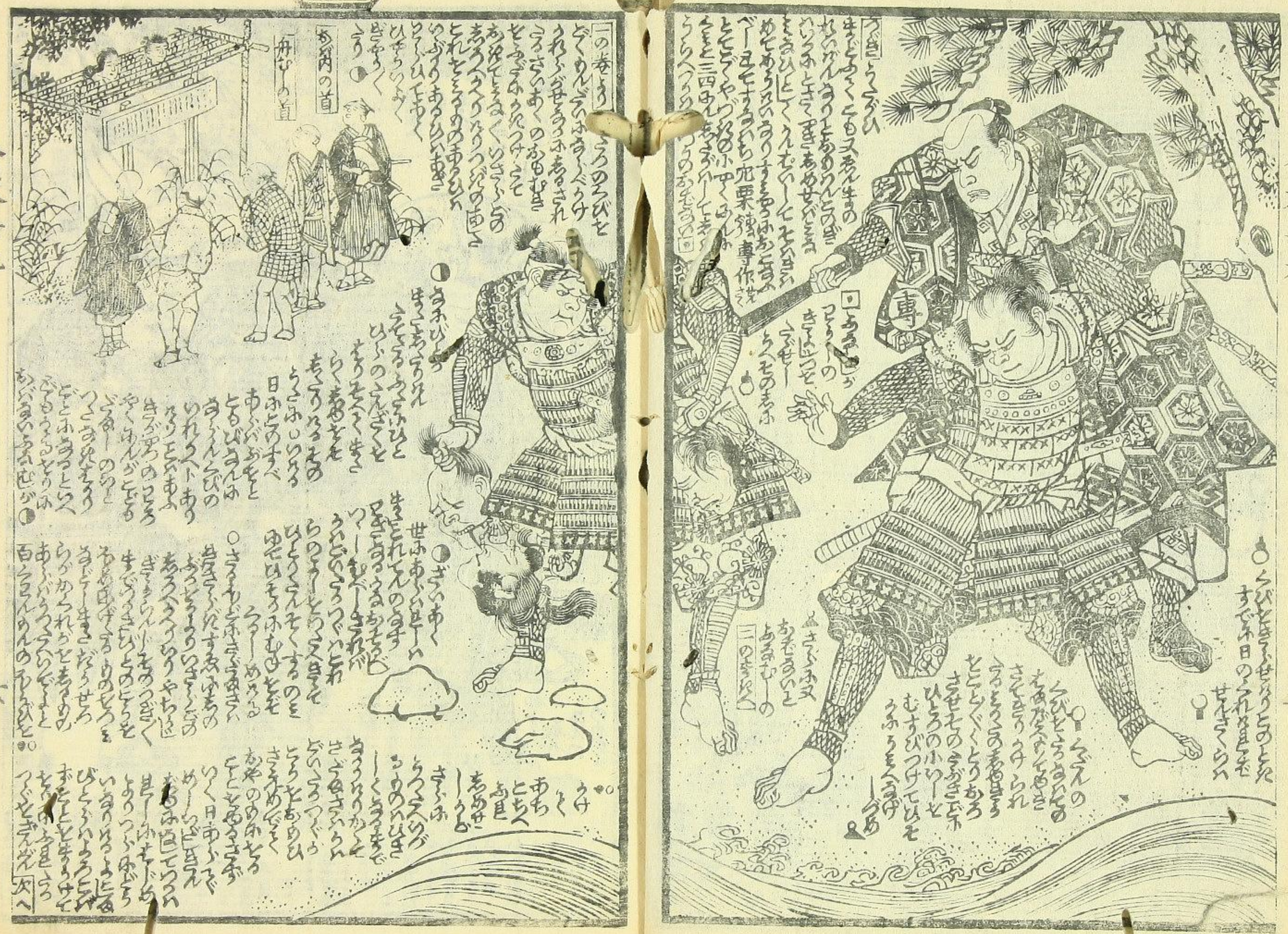
富山の神女
伏姫
里見老候義實

荒磯
浪
六
花
咲
姥
實
公
羽
与
四
郎
雪
ハ


定


佐


森羅殿


二
一の巻より
舟びの首
専

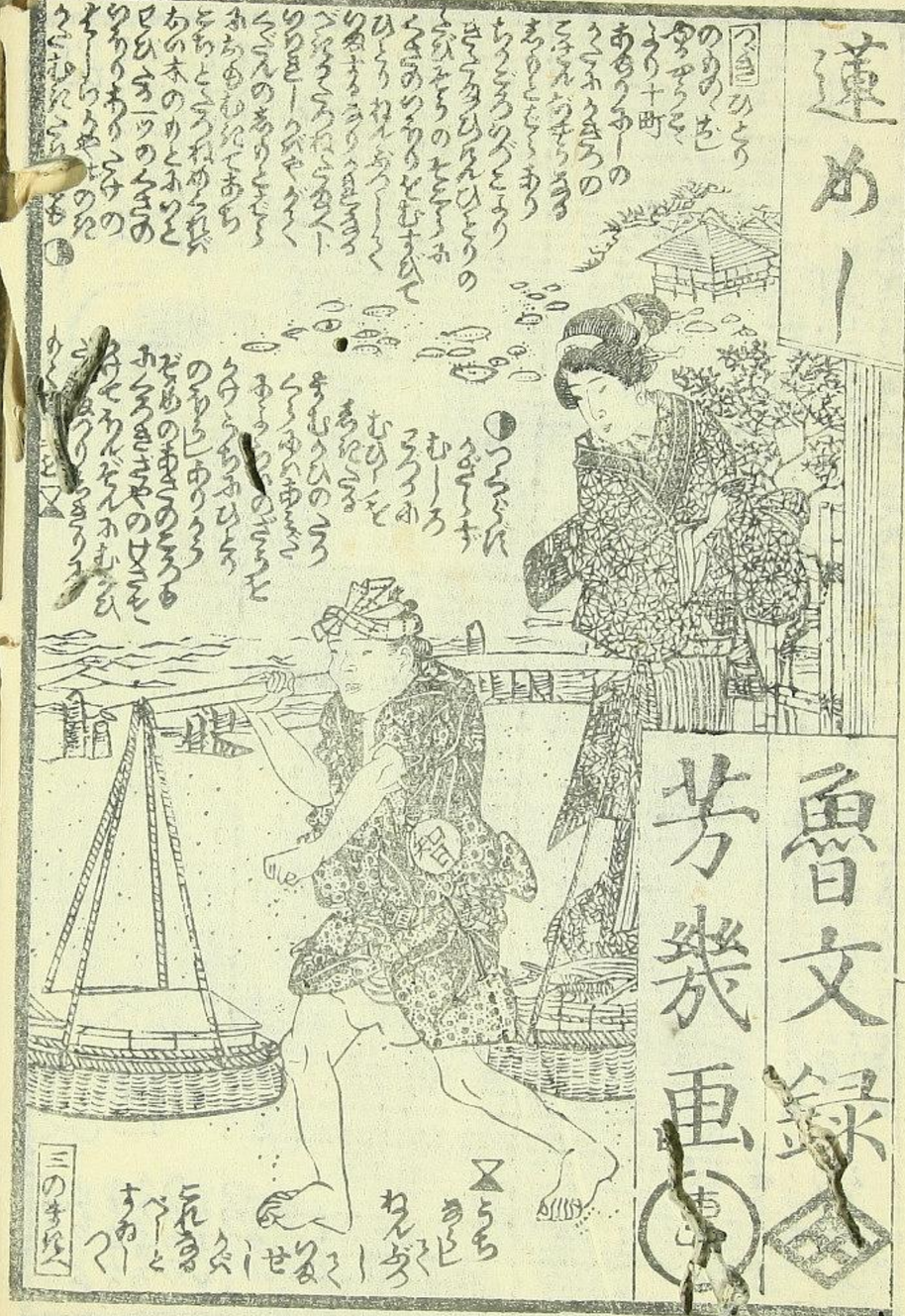
七大士

二十二日の

○此処の繪様い
氷垣氏大士
等と鄉食應
の役おとを勝
手ふ調理の
趣を重せう

○世智助小二の二人伊皿子と忍び岡の城内へ忍び敵の動静を

蓮の一



魯文録芳幾画

假名讀八犬伝

自初編　至二十六編

010190518103

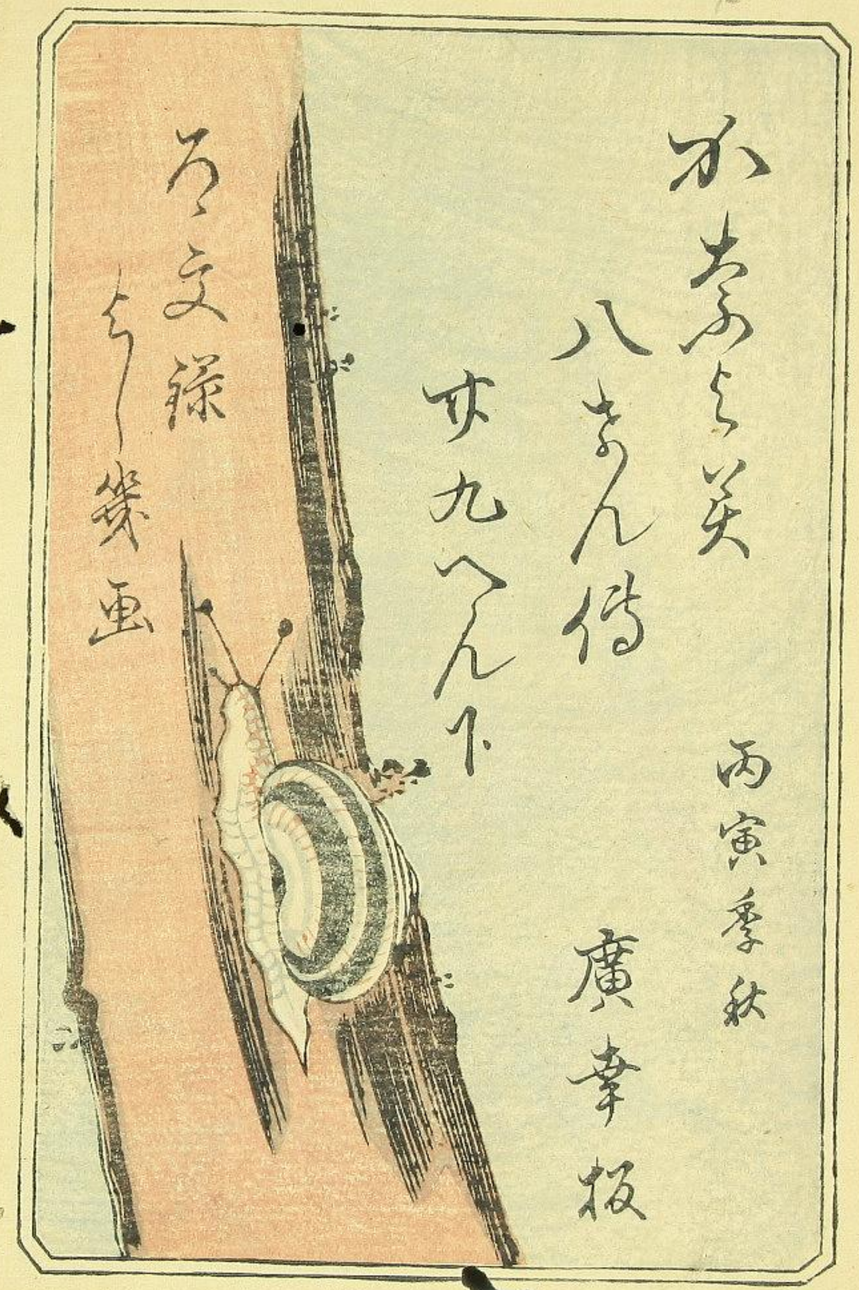
魯文稼
芳幾画
大侍
廿九編下

A 380
6

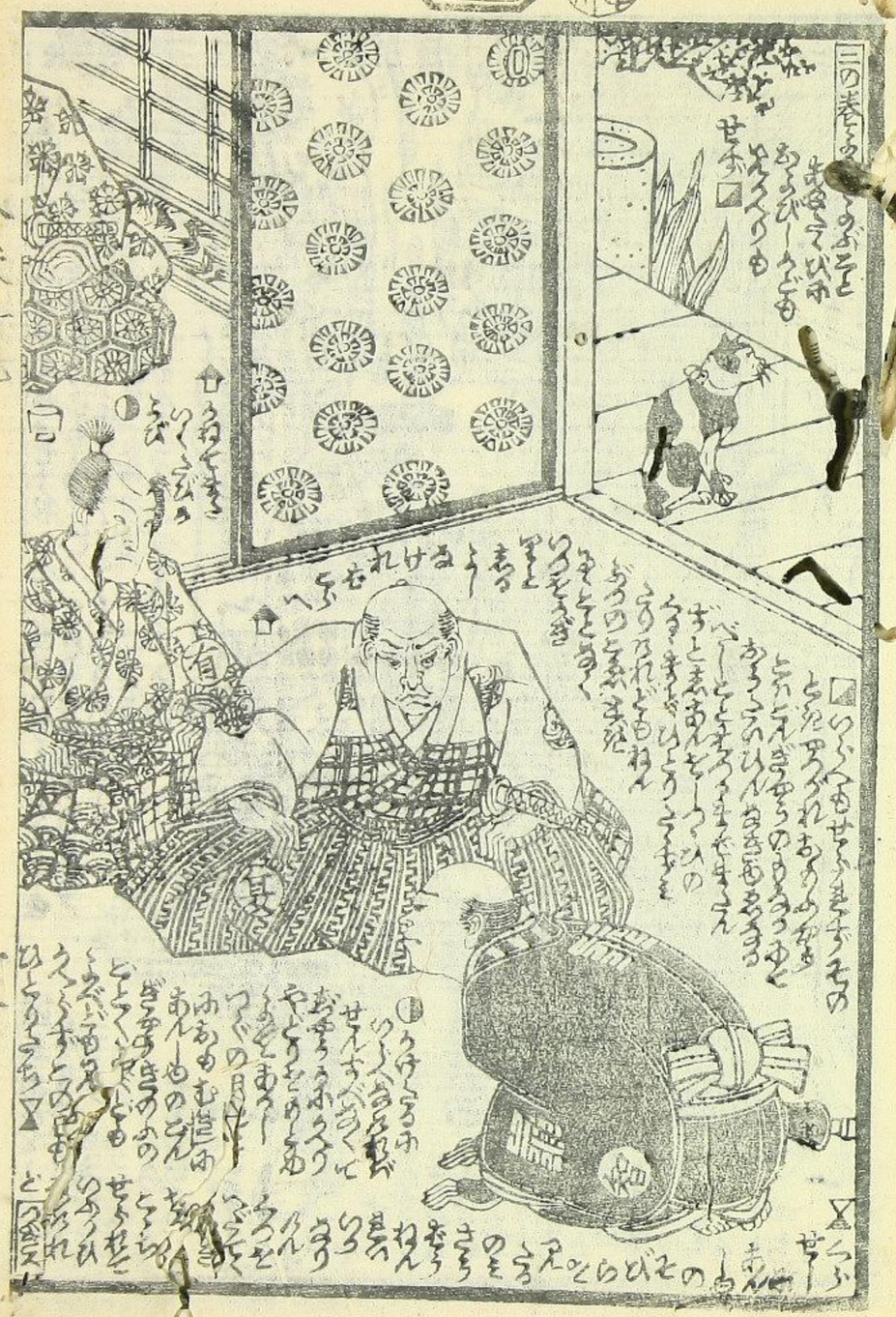
小あら笑
八まん侍
廿九へんト

丙寅季秋

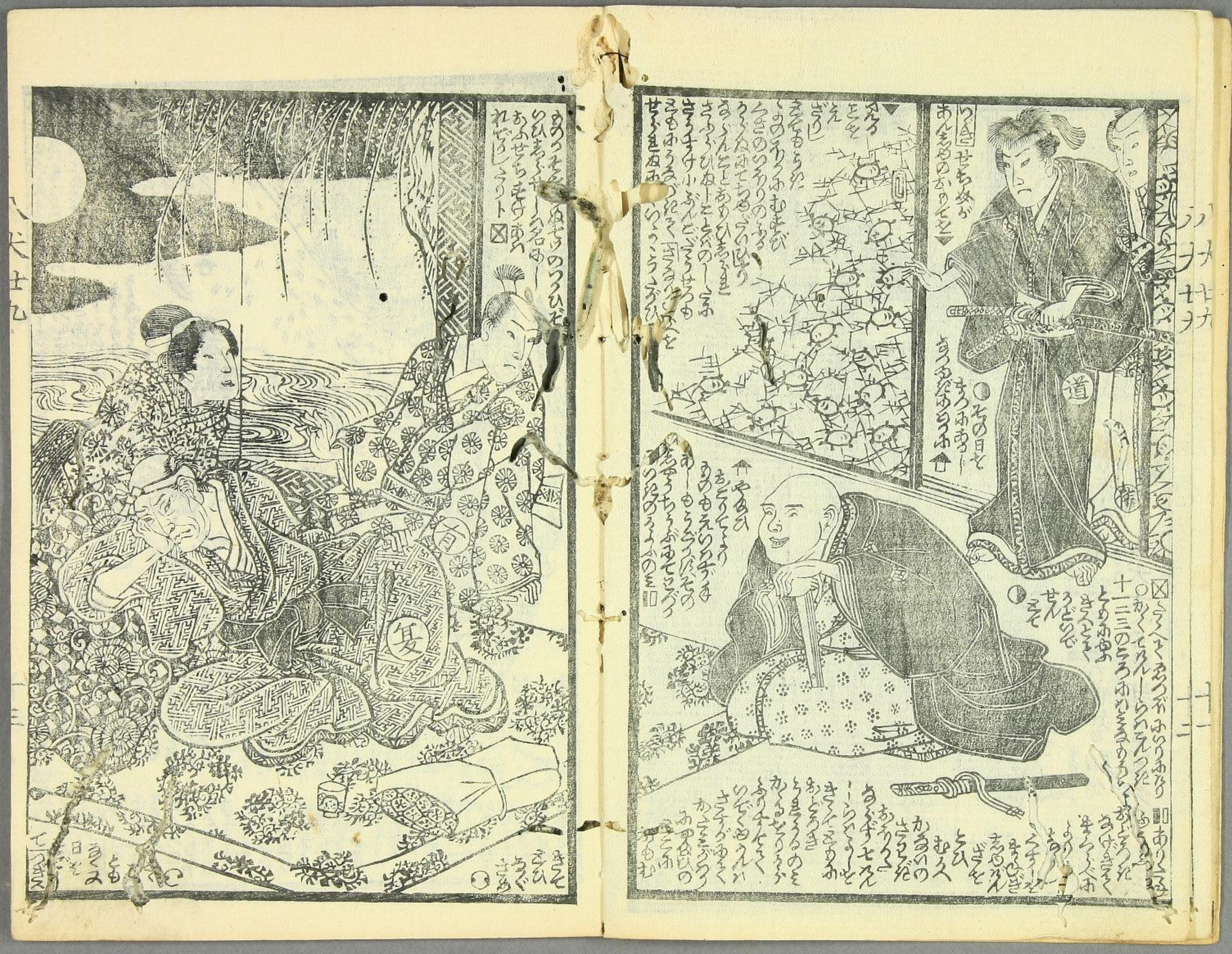
廣幸板

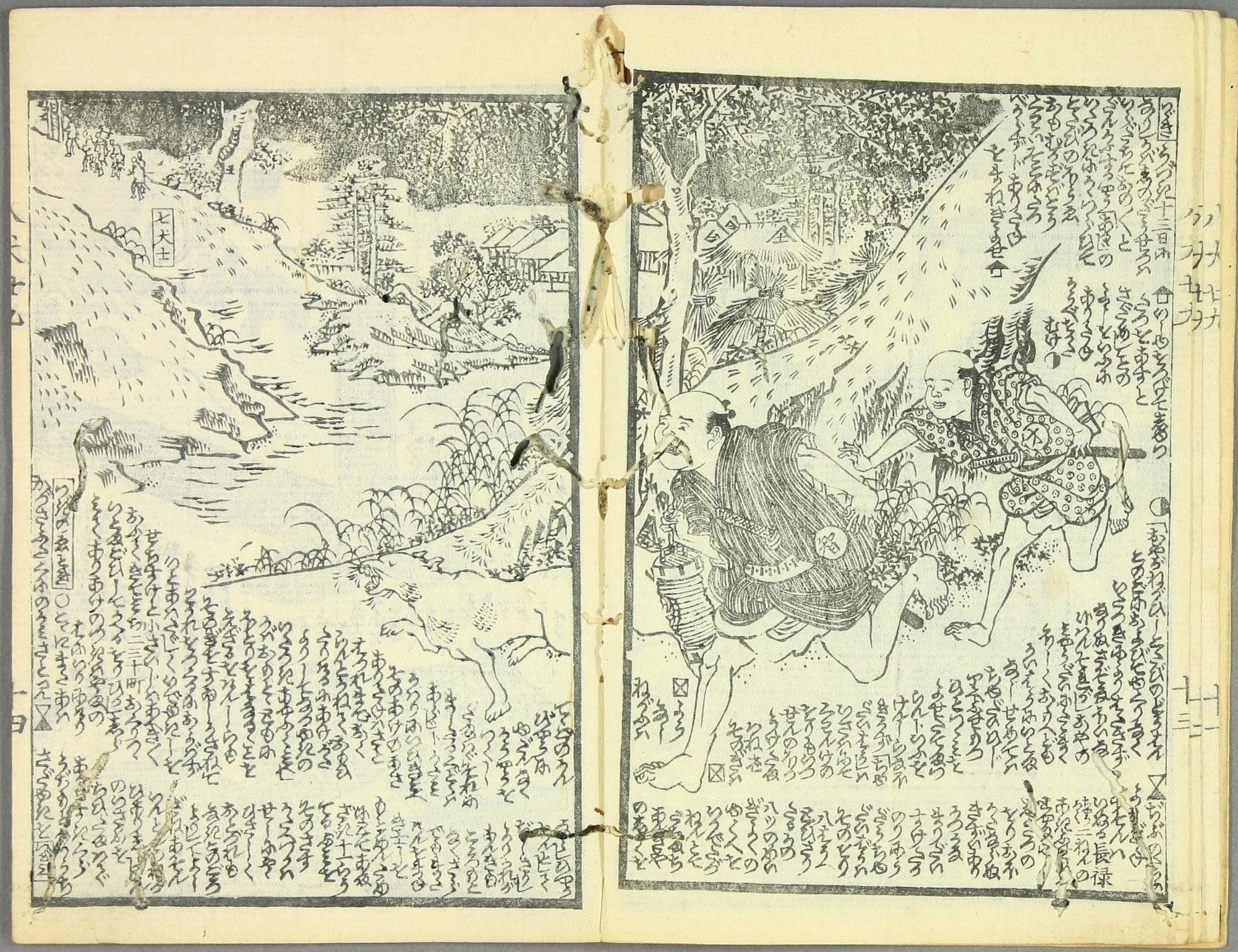


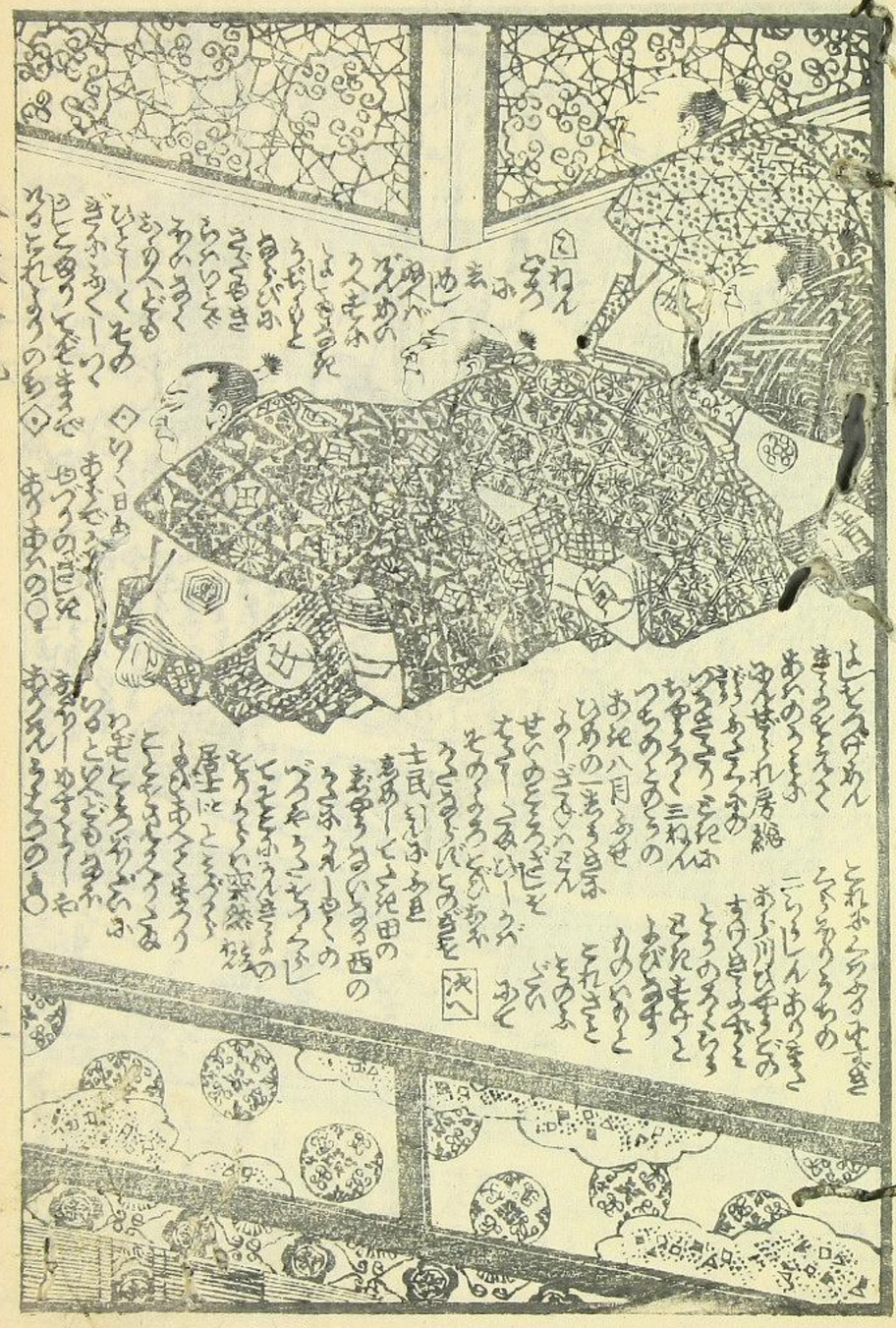
48-7605

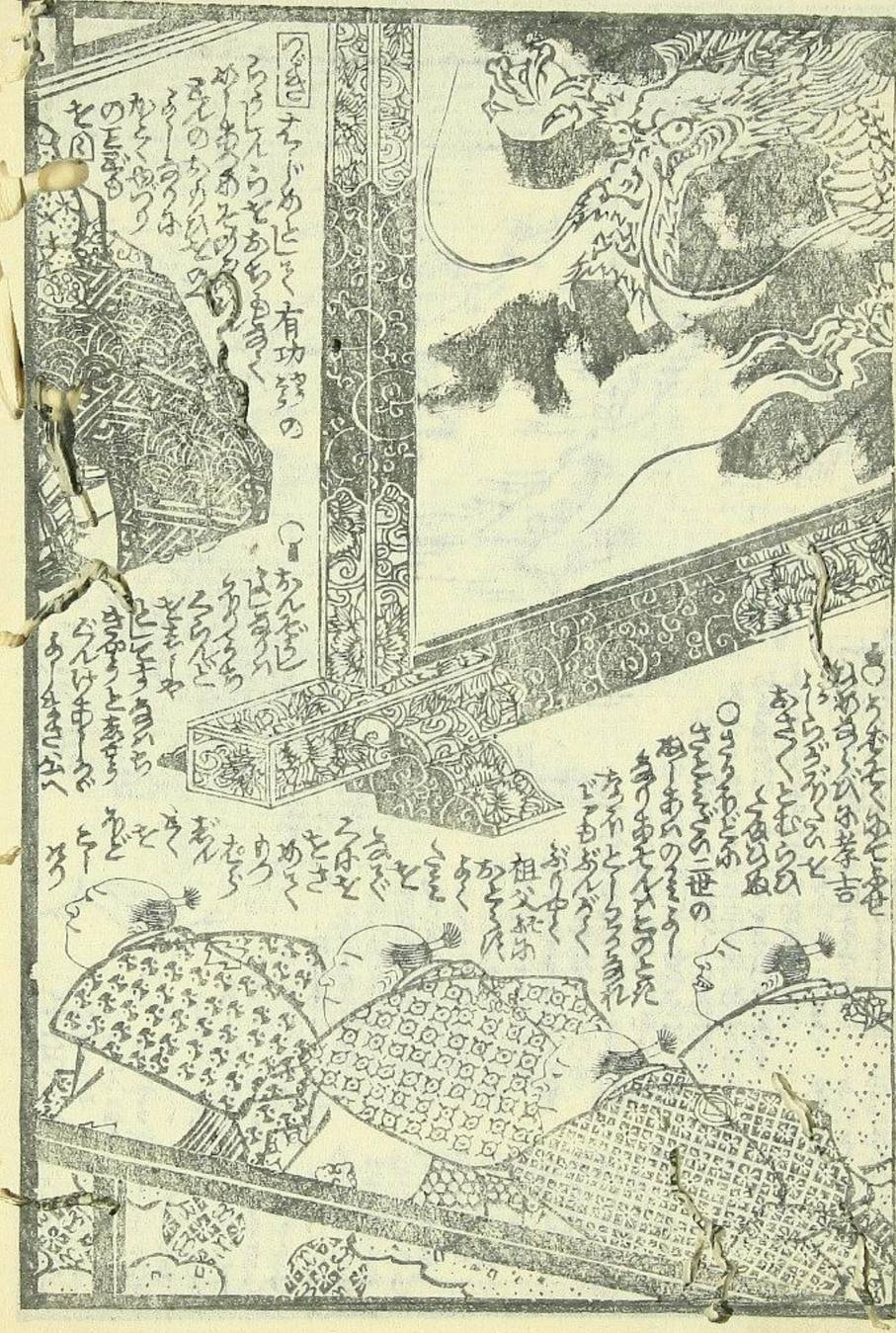


○此繪の様い世智辯ゞ
七犬士への物語とゝんゝ



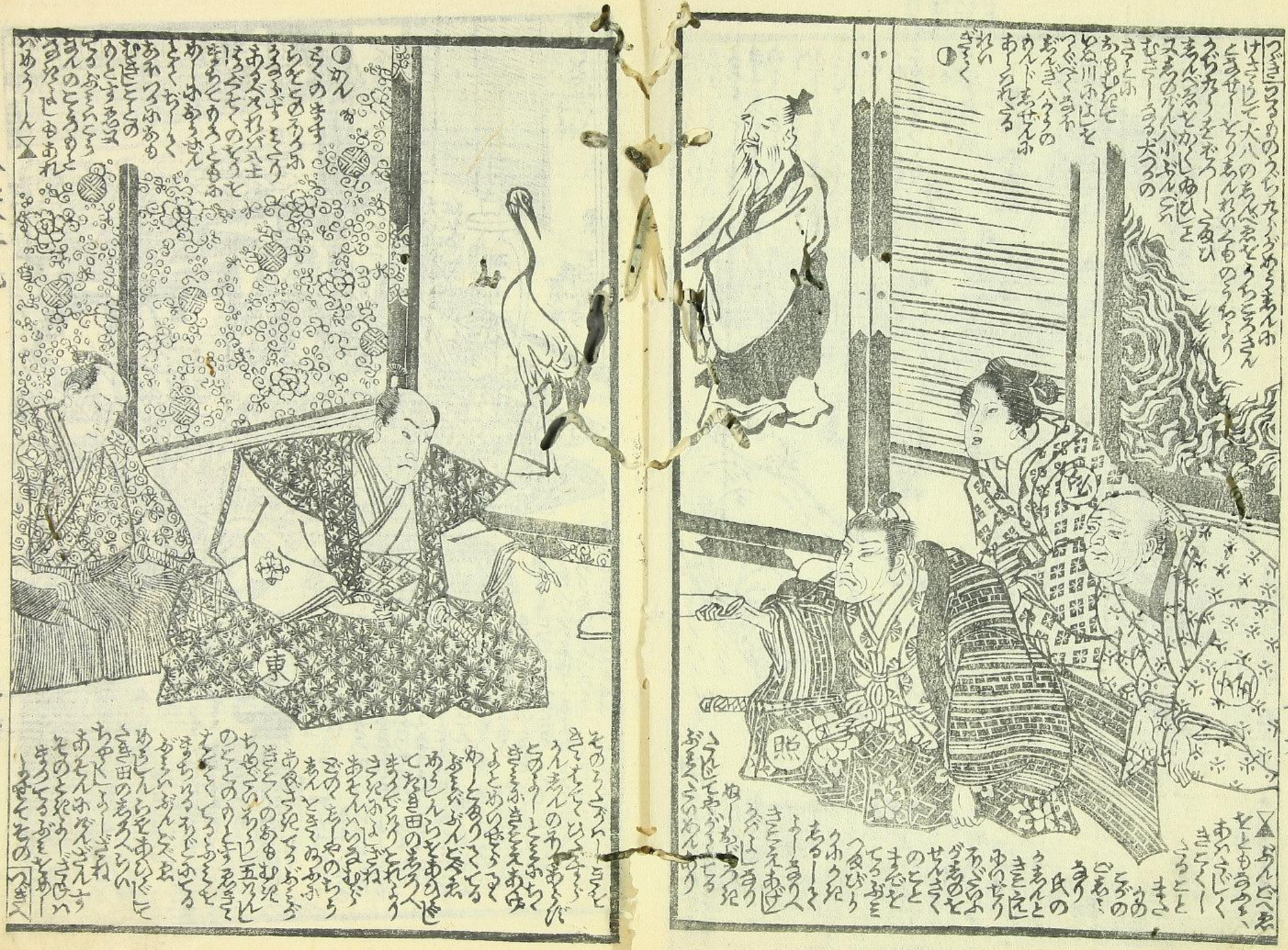


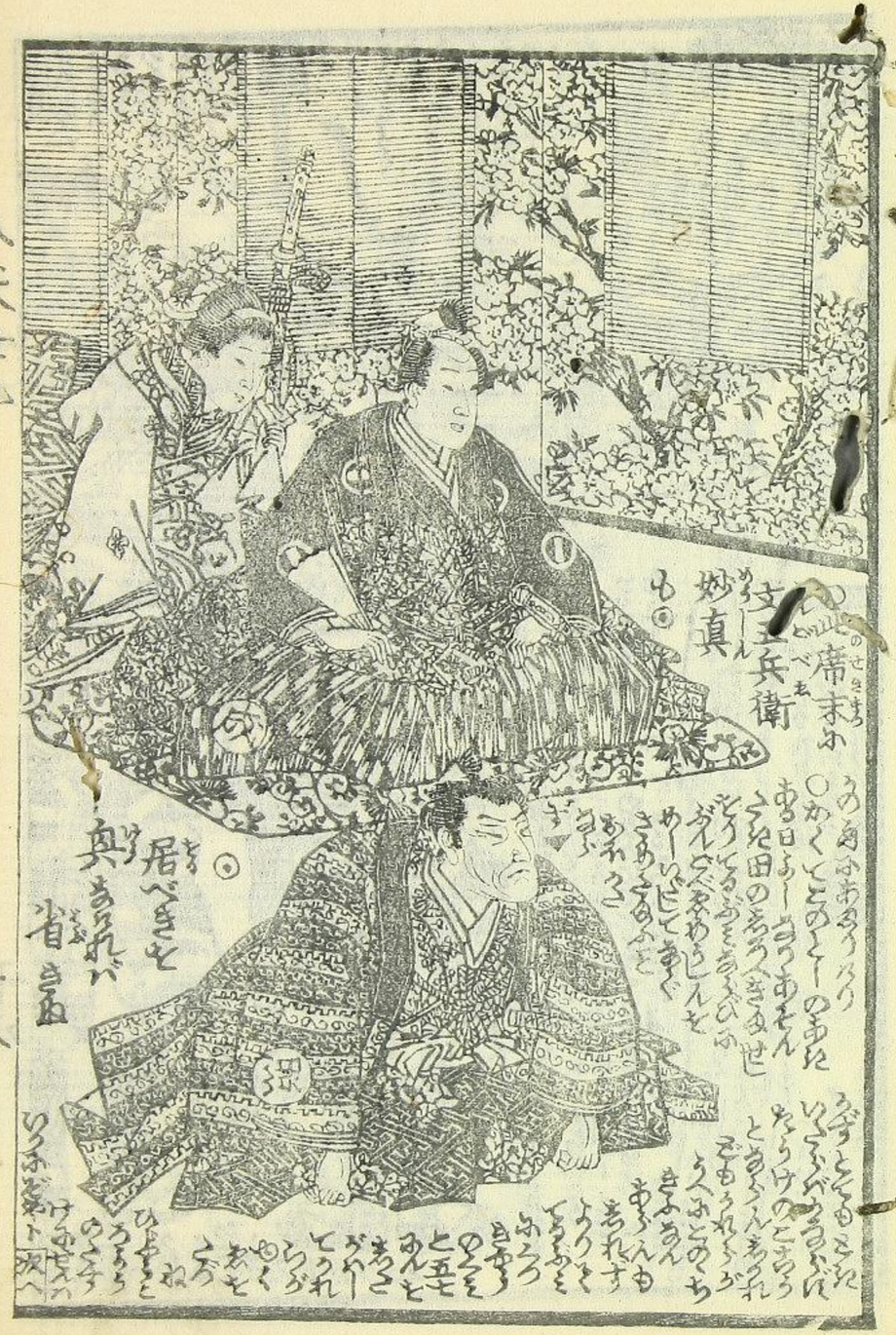


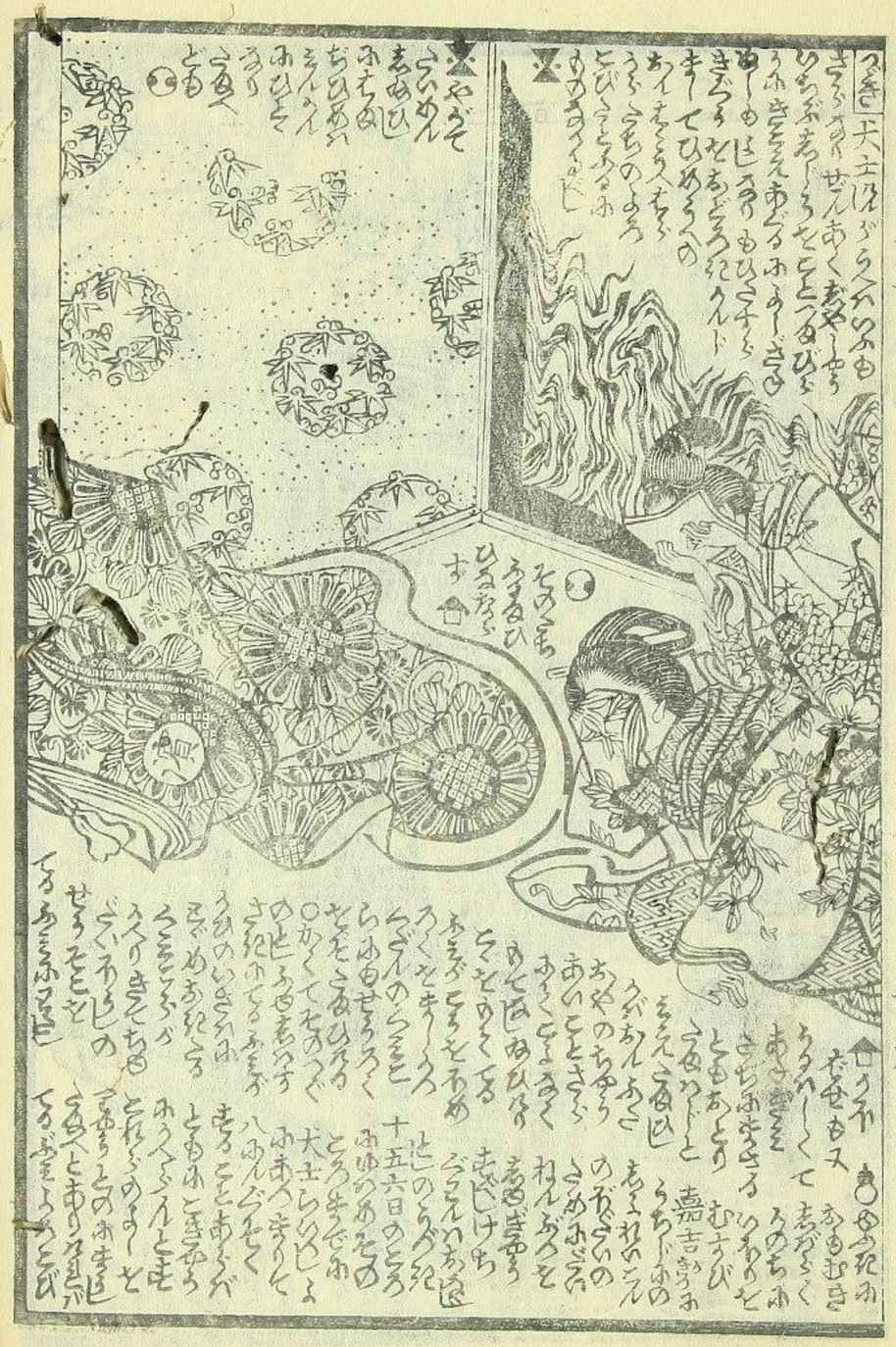


○安房國
稲村城之図

従是東南里見領
文明十年八月

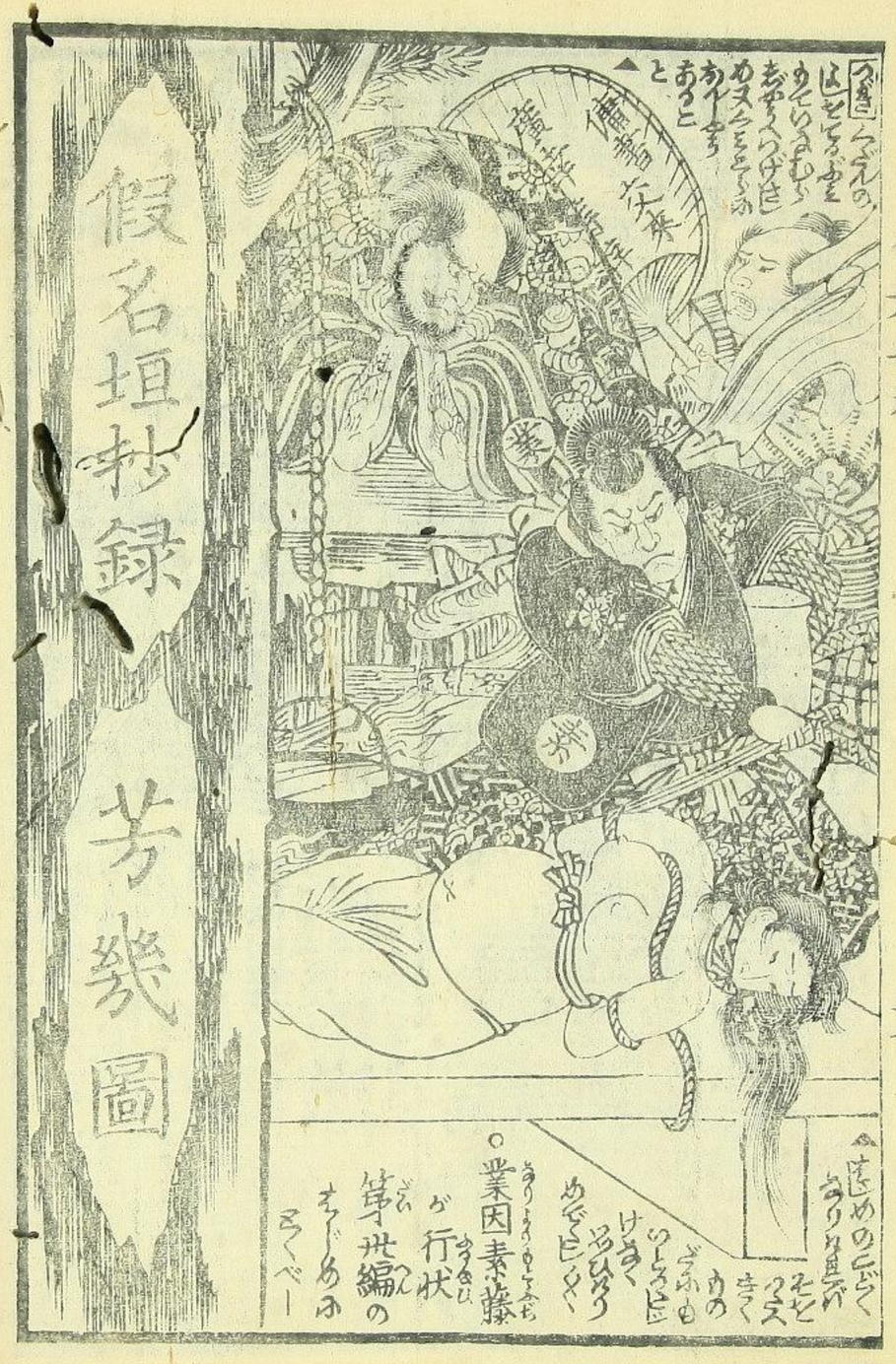

照
東





假名垣抄録

芳幾圖



○業因素藤が行状等冊編のまくべー

柳亭種彦作

歌川芳幾画

假名垣抄録

山々亭人作

歌川芳幾画

東都 柳春堂 英國屋吉助版

010190518111